

川づくりワークショップ

平成24年4月20日発行
古賀市役所建設産業部建設課

第1回ワークショップ開催！

～皆さんと考える川づくりが
スタートしました～

平成24年4月7日(土)、9時30分から市民の皆さんに集まっていただき、第1回ワークショップを開催しました。

このワークショップは、市役所そばの大根川を対象とし、どのような川にするか、また、その川をどのように使用していくかについて、市民の皆さんと一緒に考えていこうと開催したものです。



ワークショップで話し合う大根川

第1回ワークショップの内容

- ・開催の趣旨説明
- ・自己紹介
- ・大根川の観察
- ・大根川を観察して思うこと(意見発表)
- ・本日のまとめ

当日は、約50名の市民の皆さんに集まっていただきました。

ワークショップ開催にあたり、建設課長から趣旨説明を行った後、ワークショップの進行役としてお願いした九州大学工学研究院 島谷 幸宏教授、同 林 博徳助教に進行をバトンタッチしました。

まずは自己紹介。一人ひとり、大根川への思い、川づくりに対する思いを一言ずつ自己紹介とあわせて言ってもらいました。

大根川の観察

市役所から大根川へ移動し、現状を観察しました。

島谷教授の解説に耳を傾けながら独特の形をした突堤を観察する人、護岸の花や樹木を観察する人、水際まで降りて水中生物を探す人、ニビシ醤油が取水しているポンプに興味深く観察する人。現在の大根川、また、この川をどのような川にしたいのかについて皆それぞれ思いをめぐらせながら、自由に見て歩きました。

当日は天気にも恵まれ、水も澄んで川底まで見ることができ、コイやハヤも元気に泳いでいました。



観察の様子

大根川を観察して思うこと(意見発表)

市役所に戻り、大根川を観察して思ったことについて、自由に意見を出し合いました。短い時間でしたが、皆さんの川に対する熱い思いがたくさん出されました。

出された意見を整理すると、「現状の大根川に対する意見」と「今後の川づくりに対する意見」と大きく2つに分類することができました。

「現状の大根川に対する意見」では、現状の護岸、生物をそのまま残したいといった意見が多く出されました。

「今後の川づくりへの意見」では、特にホタルが飛ぶ川にしたいという皆さんの厚い思いが伝わってきました。また、ゴミや自転車の不法投棄が見られ、マナーアップを図る取組に対する意見も多く出されました。

皆さんからの意見は次のようなものでした。

●現状の大根川に対する意見

- (1)現在の良い環境について
 - ・現状でも景観的によい。

- ・むかしの川の姿を残している。
- ・子どもが近づきやすい。

3面コンクリート張りの川が多い中、自然豊かで昔ながらの川を思い浮かべた方が多かったようです。

(2) 生物が住む河川について

- ・カモが飛来してくる。そのカモの住家を残したい。
- ・コイやハヤが泳いでいた。

(3) 川の水質について

- ・思ったより水が澄んでいた。

●今後の川づくりへの意見

(1) 整備範囲について

- ・市役所そばを一体的に整備する方向で話し合いをしたらよいのではないか。
- ・大根川全域を対象としたらよいのではないか。
- ・防災対策も考えながら、話し合う必要があるのではないか。

昨今のゲリラ豪雨による河川氾濫は記憶に新しいものです。水際に近づくことができる川でも災害が起こらない川づくりが必要です。

(2) 川の法面について

- ・現状でもキレイなので、現状のままで人が水際に近づけるように整備したらいいのではないか。
- ・法面の勾配をゆるやかにしたら、人が水辺に近づきやすくなるのではないか。
- ・必要のない樹木は、環境に配慮しながら伐採したらよいのではないか。

(3) 生物について

- ・水生生物を観察できる川がよいのではないか。

(4) 利用について

- ・今回対象範囲へのアクセス道路も整備する必要があるのではないか。
- ・ミニミニ公園（ベンチと花壇）を大根川沿いに整備すると憩いの場になるのではないか。

(5) マナーについて

- ・ゴミや自転車の不法投棄が見られた。
- ・私たちでも清掃活動ができるのでないか。

(6) ホタルについて

- ・ホタルが飛ぶ川にしたい。
- ・30年前にはこの付近にもホタルが飛んでいた。



ホタルが飛ぶ川にしたいという皆さんの意見に対し、ホタルは防犯灯の灯がある箇所には生息しにくいといった意見も出され、ホタルを飛ばしたいという思

いと、犯罪を未然に防ごうとする思いが交差することとなりました。

(7) 川づくりについて

- ・川の土手を工夫し、水際に近づけるようにしたい。
- ・水の導入口を管から橋にして、水量を増すようにしたらよいのではないか。

(8) ワークショップの進め方について

- ・どのような川にしたいのかについてイメージを作り、みんなで共有したらよいのではないか。
- ・ワークショップへの子供の参加も検討したらよいのではないか。

本日のまとめ

皆さんの川づくりへの熱い思いを感じることが出来た第1回目のワークショップでした。

今後も、皆さんから出された意見を踏まえ、どのような川づくりをしていくかについて、皆さんと一緒にワークショップで考えていくこととなりました。



皆さんからの意見集約

次回のワークショップのご案内

今回は、**5月12日(土) 13:30~15:30**、**市役所大会議室**で開催します。

テーマは次のとおりです。お誘いあわせの上、皆さんのご参加をお待ちしております。

次回のテーマ

- ・大根川をもっと知ろうということで、災害の歴史、整備の歴史について学びます。
- ・川づくりを検討する範囲について考えます。